

委員会ワーキングについて

1. ワーキングの検討内容

水需要管理WG:

水需要管理の具体的内容(環境に配分されるべき水量、具体的なマネージメント手法等)

水位管理WG:

環境に配慮した適切な水位管理のあり方(琵琶湖、ダム等の水位管理)を中心に検討。

2. ワーキングメンバー(案)

- 運営会議委員の協議によりWGメンバー(案)を作成した
- WGは、十分な検討を機動的に行うため6名程度を目途とする
- 専門的な知識を必要とする場合には、委員以外の参加も求める
- このメンバーをコアとして、適宜参加は可能とする。遠隔地の委員やその他の外部の有識者等については、検討内容により適宜、参加していただく

<水需要管理WG>

	候補	所属等
グループリーダー メンバー	今本委員	委員会・淀川部会
	荻野委員	淀川部会
	川上委員	委員会・淀川部会
	寺田委員	委員会・淀川部会
	寺川委員	委員会・琵琶湖部会
	小尻氏*	京都大学防災研究所・教授

*は委員会以外のメンバー

<水位管理WG>

	候補	所属等
グループリーダー メンバー	榊屋委員	委員会・淀川部会
	江頭委員	委員会・琵琶湖部会
	田中(哲)委員	猪名川部会
	谷田委員	委員会・淀川部会
	西野委員	琵琶湖部会
	村上委員	琵琶湖部会

3. その他

- 原則として非公開(ワーキングメンバーのみの検討)
- 検討結果については、適宜委員会へ報告